

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選**択ができる子どもの育成**

取組目標

『奈良を地域を知る』—世界遺産と環境—〜クロスオーバー若草点から線へ、線から面へ〜**【今年度の取組紹介】**

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、コロナ前のやり方について見直しをはかり、継承できるところは継承し、精選できるところは精選をはかりました。また持続可能な運営を追求していくことを念頭において事業を進めていきました。特に若草中学校区のメイン事業である「地域合同文化講演会」は、コロナ前のように一般の方々にも広く周知し多くの方々に足を運んでいただき開催することができました。また、文化鑑賞会として『太鼓集団倭YAMATO』に来校していただき、大迫力のパフォーマンスを鑑賞することで「本物との出会いによる感動の体験」につなげることができました。

➤若草中学校区小中一貫教育研修会

地域の若草公民館を使用させていただき、校区の先生方や地域の方々とともに講師の先生をお招きし、「自殺予防」研修会を開催しました。

**➤地域合同文化講演会**

元若草中学校教員でもいらっしゃった「北村雅昭」先生を講師にお招きし、『松永久秀と多聞城』と題しての講演を本校体育館にて開催し、「生まれ育った地域の素晴らしさに気づき、誇りを育むことができました。」



小中一貫教育研修

➤文化鑑賞会

『太鼓集団倭 YAMATO』。熱い思いが太鼓の音を通して、そして、その太鼓を叩く本気の姿からビシビシと伝わってくる迫力のステージに、生徒のみんなも釘付け!! 合図に合わせて一緒にリズムを叩き、声を出し、手を挙げてと、まさに会場が一体となって、盛り上がりました!!



文化鑑賞会

地域合同文化講演会

【今年度のまとめ】【来年度に向けて】

- ・持続可能な事業を精選しながら、質の高い事業を進めていきます。
- ・今年度同様、地域合同文化講演会、地域コーディネーター会議の開催により、コーディネーターの繋がりを継続的に深めていきます。
- ・地域のことをよく知った人材の発掘等を進め、地域の歴史を学んだり、自らの生き方を考えるキャリア教育の支援に繋げていきます。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路**選択ができる子どもの育成**

取組目標

学びをはぐくむ

【今年度の取組紹介】

◆環境美化事業「花植え」

◆学習支援

➤「中3学習会」3年生では進路実現に向けてより確かな学力をつけるために地域の方や大学生のボランティアに協力いただき中3学習会を行っています。

➤「図書館学習」定期テスト前の期間を中心に全学年希望者による図書館での学習会を行っています。

◆キャリア教育支援

➤「ゲストティーチャー」から学ぶ

キャリア教育の一環として様々な職業の講師の先生を招き職業についての講義を受けたり、実際に実習体験を行いました。美容師、写真関係、保育士、警察官、メディア関係など生徒たちにとってとても興味深く、将来の進路選択に向けて有意義な体験でした。

➤「誕生学」講演会

誕生学など命に関する学習についてゲストティーチャーをお招きし、講演を通じて学習することができました。

➤「探究学習についての研修」

奈良県をはじめとした全国の各高校でもカリキュラムに組み込まれた「探究学習」について、国内でも先陣を切って取り組まれている「京都市立堀川高等学校」の先生方3名を講師としてお招きしての研修会。「若中の生徒のより良い学び」のために、先生方も熱心に取り組まれていました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、コロナ前のやり方について見直しをはかり継承できるところは継承し、精選できるところは精選をはかりました。また持続可能な運営を追求していくことを念頭において事業を進めていきました。保護者・地域の方々に学校に来ていただき、環境美化活動として花植えなどの活動が再開できたことは非常にありがたく有意義なものでした。

【来年度に向けて】

持続可能な運営を心掛け、事業を精選しながらも生徒たちのより良い学びの実現のために地域コーディネーターをはじめ地域の方々との連携をより深め、生徒たちが将来の進路選択に向けての学びをはぐくんでいけるよう継続的な支援をしていきたいです。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りをもち、多様な進路選**択ができる子どもの育成**

取組目標

自分たちの育った校区に誇りを持ち、その素晴らしさを校区内外に発信し、より地域のきずなを深め合えるようにする

【今年度の取組紹介】

書道の達人から学ぶ

元教師の書道家の方から高学年に指導していただきました。1回目は、墨を自分で作る体験やたくさん種類の筆と紙を用意していただき、普段体験している「習字」というものが道具を変えるだけで色々な書き方、書き心地があるということを児童は感じる事ができたと思います。

2回目は、学校近隣にある正倉院を特別に見学させていただきました。そして、間近に見た正倉院や校名になった鼓坂を歩いたときの情景を思い出して5・7・5の俳句づくりを行いました。慣れない細筆を使用しての作品作りに試行錯誤しながらも一生懸命に取り組み、特別な俳句をつくる事ができました。



菜の花プロジェクト

本校では、世界遺産学習・環境教育・地域交流の一環で、主に1・2年生の生活科で地域のボランティアの方々や保護者と一緒に取り組みました。児童自身で菜の花の種まきから行い、育て、刈取り、種を採って、その種から搾取した油を東大寺に献納し灯明に使ってもらうことで、千年単位で文化財や伝統を守り、受け継いできた奈良の人々の営みや心との重なりを感じたと思います。

菜種の油が食用やバイオ燃料（地球環境にやさしい）として使用し、油の搾りかすや菜の花は、畑の肥料となる循環型社会についても学びました。大人（地域の方、保護者）と児童の世代間の交流や対話を促し、異なる世代との交流を通して、疑問を解決したり、他者の思いを受け止めたりしながら、活動を通して「受け継ぐ」ということを体験的に理解し



主な活動の流れは、5月菜の花刈取り、6月脱穀と搾油、9月東大寺に献納、10月種まき、11月移植を行っています。

【今年度のまとめ】

本校区は、世界遺産に囲まれた素晴らしい環境の中にあり、様々な行事・伝統等、地域が守り続けてきた事柄が多いです。子どもたちの為に、「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出する事業が実施でき、生まれ育った地域に誇りを持ち、地域の方々とのつながりが深まったように思います。地域の方々との「であい」の演出を今後も大切に、この活動を進めていきたいです。

【来年度に向けて】

地域の「ひと」「もの」「こと」と出会い、生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもを育てる取組を進めていきたいです。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

佐保に生きる（地域と共に）

【今年度の取組紹介】

自然環境学習～ビオトープやバタフライガーデンを通して～

13年目を迎えるビオトープでの自然環境学習では、引き続きNPO法人や専門家の指導を受けながら、子ども達が佐保の自然や環境から課題を見つけ、自らの問題として捉えながら、一人一人が自分にできることを考え、実践していくことを学んでいます。今年度は、改修したビオトープにカワナ（ホタルの幼虫のエサ）を放流し、専門家の指導を受けながら生育状況の観察を続けました。生育可能であることが確かめられたことから、次のステップに進んでいく予定です。

地域連携活動～マーチングバンドの演奏～

今年度は、練習時間も十分確保することができ、運動会やオープンスクールで保護者や地域の方々に披露できました。また、地域イベント（佐保まつり）や奈良マラソンの会場でも発表できたことで、児童のモチベーションもあがりました。保護者や地域の方から多くの賞賛の声をかけていただきました。

読み聞かせ活動～全学年への絵本の読み聞かせ～

3学期にゲストティーチャーを招聘し、全学年を対象に絵本の読み聞かせをしていただきました。楽しい絵本、考えさせられる絵本など、発達段階に応じた選書をしていただき、子どもたちに大好評でした。また、年始に能登半島の震災もあったことから、地震災害に関わった絵本も読み聞かせいただいたことで、1月17日に実施した避難訓練と併せて、防災教育にも有効な取組となりました。



【今年度のまとめ】

自然環境学習では、ホタルの舞うビオトープに向けて、学びをつなげていくことができました。マーチングバンドの活動では、コロナ禍以前のように練習や発表ができ、子どもたち自身はもとより保護者や地域の方にも大変喜んでいただけました。絵本の読み聞かせでは、ゲストティーチャーの巧みな読み聞かせに、子どもたちは釘付けでした。

【来年度に向けて】

阪阪小学校との統合に向けて、新校舎建設の工事がはじまりました。そのため、ビオトープは一旦取り壊され（令和8年度に新設決定）、バタフライガーデンも来年度半ばには狭小となる予定です。そのため、活動内容については、ご指導いただいている方とも改めて相談しながら活動を続けていきます。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標

地域とのふれあい、人・もの・こと との豊かな体験活動を通して、学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童を育てる

【今年度の取組紹介】

学習支援事業（菜の花プロジェクト・郷土学習・紙漉き体験・昔遊び体験等）

菜の花プロジェクトは、菜の花の栽培・菜種油奉納の体験と、世界遺産・気候変動問題に関する学習を通して、自分事として何ができるかを考え実践することを目指しています。PCを用い1年の取組をポスターにまとめ、校内掲示しました。郷土学習や紙漉き体験では、ゲストティーチャーお招きし地域の歴史や変遷について教えていただいたり、奈良の伝統工芸に触れ、体験させていただいたりすることで、生まれ育った地域を大切にしようとする心を育てます。学んだこと・考えたことを市外の小学校との交流会で発信します。昔遊び体験では、地域の名人さんと一緒に楽しむことで、ゲーム機では味わえない暖かいふれあいを感じとり、できた喜びを味わうことで笑顔いっぱいになりました。



読書推進事業（絵本の読み聞かせ）

季節や学校行事、発達段階に応じて「お話したつきゅうびん」の方に素敵なお話の読み聞かせをしていただきました。「今日はどんな絵本かな？」とチラシを楽しみし、終わった後に意欲的に感想を言うなど読書意欲が高まりました。



見守り安全事業（登下校の見守り・命を考える集会）

見守り安全の方が毎日登下校の見守りに携わっていただくことで子どもたちは安心して学校に通うことができます。「命を考える集会」で自分たちの安全を見守って頂いていることへの感謝の気持ちを手紙に書き、全校朝会で手渡しました。



環境整備事業（花いっぱい運動・図書室の整備・学年園の整備）

学校の花壇や自分の植木鉢に花を植えることで、みんなが過ごしやすい学校の環境を整えたり、卒業式等の会場を華やかにしたりしています。また、ボランティアの方が定期的に図書室の新刊のブッカーかけや学年園の植物の管理に来てくださることで学習環境がより良いものになりました。

【今年度のまとめ】

コロナ禍以前のようにたくさんの地域の方の協力をいただき、「菜の花プロジェクト」を中心にそれぞれの事業を進めることができました。また、それぞれの活動における新たな担い手・協力者を得るために、ボランティアの募集のチラシを作成し自治会を通じて配布しました。地域の方の『子どもたちのために協力したい』という熱い思いの中、子どもたちは豊かな学びを得ることができました。

【来年度に向けて】

ボランティアの高齢化および児童数減少の中、今後も持続可能な形でそれぞれの事業を進められるよう、ねらいを再確認したり、これまでの活動内容を見直したりする必要があります。また、子どもたちの現状を踏まえ、授業支援に関する新たな活動をスタートできればと考えています。そのため、これまで以上に地域コーディネーターと連携し、目標を達成できるように取り組んでいきます。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、 多様な進路選択ができる子どもの育成

取組目標 地域の自然環境や様々な人との関わりを活かした体験活動を構築し、豊かな心とたくましい体を培い、佐保幼稚園で学んだことを誇れる子どもの育成

【今年度の取組紹介】

◆のびのびクラブ（わくわく学習支援事業）

今年度から年間8回、総合型スポーツクラブのコーチに来ていただき、体を動かす楽しさや面白さを感じながら体幹を鍛えることを目的に、「のびのびクラブ」を実施してきました。季節や発達に応じて玉入れやリレー、縄跳びに繋がる体の動きを、そして回を重ねるごとにドッジボールやサッカーなどの集団でルールのある内容を楽しみながら、経験することができました。子どものいきいきとした姿を保護者にも伝えたいと考え、再度参観日にその内容を親子で行ったり、自由参観の日をつくったりし、保護者へ啓発する機会をもちました。また、子ども達は、この活動で経験したことを友達と更に考え遊びに取り入れたり、続けて挑戦したりするようになりました。



◆大佛鐵道のことを知ろう！（わくわく地域連携事業）

子ども達は、保育の中で絵本「イナヅマごうがやってきた」を見たり、大佛鐵道公園への園外保育に行ったりし、大佛鐵道に親しみをもっていることから、今年も大仏鐵道研究会の方に話を聞くことにしました。当日は、話の前に当時の物を模した赤い切符をもらい、蒸気機関車に乗った気持ちで話を聞いたり紙芝居を見たりしました。自分達が暮らす地域や歴史に興味をもつ貴重な経験やきっかけになりました。



【今年度のまとめ】

感染症対策や制限が緩んだこともあり、改めて子どもの実態と育てたい子どもの力や姿を見直し、各事業に繋げて進めてきました。どの活動を通して、特に関ってくださる方の表情がわかり、会話ができて、ふれあうことができるようになったことは、子ども達にとってとても大きなことでした。そのことで、地域の方々にすぐに親しみをもって関わることができ、取り組む子どもの意欲もより高まりました。また、保護者への啓発の回数も増やし、この活動への理解や保護者の地域への関心も高めることができました。

【来年度に向けて】

人との関わり、人とのつながりを大切に、これからも地域の方々の力をお借りしながら、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てるために、今年度の事業を継続し深めていきたいと思います。

めざす子ども像

生まれ育った地域に誇りを持ち、**多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標

地域や小学校との連携を密にし、世代を超えたふれあいや体験を通し、豊かな心と夢を育む。

【今年度の取組紹介】

- ◆体力づくり事業では、今年度新たにバスケットボール教室を取り入れ、講師を招いてボールを使って遊ぶ楽しさや、ボールをつくまでの遊びを年齢ごとに、段階を得て教えていただきました。子ども達は講師の話をしっかり聞き、難しいことにも挑戦して楽しむ姿がありました。フラフープ教室も引き続き楽しみ、「～できるようになった」と講師の先生に嬉しそうに報告する姿もありました。
- ◆伝統文化ふれあい事業では、地域で活動されている『宝亀殿』の方に来年度は子ども達の演奏も見ていただくことが出来、和太鼓の楽しさを引き継いでいっています。
- ◆おはなしの会事業では『右京おはなしの会』の方々に来ていただき、子ども達は紙芝居や絵本の読み聞かせや素話、手遊びなど様々な「おはなしの世界」を楽しんでいます。始まる前にろうそくをつけ、終わりに歌と共にろうそくを吹き消します。集中して話を聞く力に繋がっています。



【今年度のまとめ】

地域の方々に暖かく見守って支えていただき、様々な体験をすることができました。継続している取組では、指折り数えて楽しみにして待ったり、いつも来ていただいている方に親しみをもって挨拶したりしています。そしてできるようになったことを嬉しそうに見せ、「できた」という達成感や充実感を味わうことができました。

【来年度に向けて】

これまでの事業を継続し、様々な体験を通して豊かな心と夢を育むために、これらの事業や活動を保護者や地域の方へさらに啓発していきながら、こども園教育、保育への理解や地域に開かれた園としての役割を果たしていきたいと思ひます。